

有限会社フローラルクマガイ

～創造的復興に向けてカフェ・観光農園にチャレンジ～



倒壊したビニールハウス



出荷不能になったシンビジウム



修復したハウス内で生産された苺とトマト



「招き熊」



60鉢のシンビジウム

🏠 企業の基礎情報 / PRポイント

- 住所：愛媛県西予市野村町野村14-696-1
- 連絡先：0894-72-3939
- 事業内容：花き、トマト、苺の生産・販売
- 代表者名：代表取締役 熊谷 琢磨
- 企業のPRポイント：独自の技術で栽培・整形した贈答用のシンビジウムは好評を頂いています。復旧後は、シンビジウムに加え、トマトや苺の生産にも取り組んでおり、将来的には観光農園を開きたいと思っています。

🕒 被災前後の状況

- 肱川の右岸側にあった670坪のビニールハウスと、左岸側にあった230坪の出荷場が水没し、設備が全て使用不能になるとともに、出荷予定の花や、これから育てる苗も瓦礫の下敷きになりました。
- 被災後、数日は途方に暮れていましたが、ボランティアの方々に励ましに背中を押され、片付けに取りかかることができました。
- 暫くすると「またゼロからチャレンジできる」という気持ちが強くなり、シンビジウムとは対象的に出荷までの期間が短いトマト、苺の新規導入を決意し、片付けの合間に視察に行きました。
- シンビジウムからトマトに転換した農家の助言を参考に、同様のシステムを導入しました。システム納入業者から作物の販売先も紹介してもらい、ゼロから生産を再開する上で非常に助かりました。
- トマトは令和元年8月、苺は12月に初収穫ができました。

👉 活用した支援策他

- グループ補助金の新分野事業を活用してトマト、苺の栽培設備を入れ替え、農林水産省の経営体育成支援事業でハウスなどの建物を修復しました。
- 持続化補助金ではトマト、苺の加工・販売施設と商品パッケージのデザイン、新たに取り組むカフェづくりに充てました。
- 地元の仲間の勤めもあり、クラウドファンディングも行いました。
- 今後復旧する機器等については、西予市の補助金を充てる予定です。

👤 事業者からのメッセージ

- 被災を機に、新たにトマト、苺の生産を始めたので、将来的には収穫体験が出来てカフェも楽しめる「観光農園」への展開を目指しています。
- 野村地区は甚大な被災を受け経済も疲弊し、少子高齢化で人も減り、寂しくなっています。当社の新たな事業展開が少しでも街の賑わいに寄与するよう、農園のキャラクターを「招き熊」でデザインしました。
- シンビジウムは、苗を仕入れから、当社オリジナルの形に整え、出荷まで3年間かかります。作業も大変ですが、自分の農業の原点です。
- 県内外のお客様からは、「1年待ってでも欲しい」という有り難い声も頂いており、復活を目指し、まずは60鉢から生産を再開し、被災前の6,000鉢を目指し、徐々に増やしていく計画です。



熊谷代表取締役